

事務事業名	女性がん施設検診事業				担当	健康福祉部 健康増進課 成人健康係			
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり				電話番号	0285-83-8122		
施策名	6	健康づくりと適切な医療の確保				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名						事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	健康増進法・がん対策基本法・がん検診実施のための指針（厚労省）				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和60 年度～）				
予算科目	1.一般会計	4.衛生費	1保健衛生費	2予防費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）				
事業概要	<p>【目的】女性特有のがんの早期発見・早期治療を目的とする</p> <p>【事業内容】受診券を発行し委託医療機関（子宮がん：産婦人科、乳がん：外科）で受診する。</p> <p>【対象年齢】子宮がん20歳以上（頸部がん、体部がん）、乳がん30歳以上（40歳未満は視触診と超音波。40歳以上は視触診とマンモグラフィ。）</p> <p>【自己負担】子宮頸部：600円、子宮頸部及び体部：800円、乳がん検診：視触診・超音波：400円、視触診・マンモグラフィー1方向（500円）、2方向（600円）</p>								

1. 現状把握の部 （1）事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
24年度実績 ・受診者の募集、通知：広報誌により周知し電話申し込み受付する。受診希望者および過去3年間に受診した者に問診票・受診票及び結果を郵送。 ・委託医療機関との契約を締結。 ・子宮がん検診委託機関：郡内 5 医療機関 ・乳がん検診委託機関：郡内 9 医療機関 ・子宮がん検体検査委託機関：栃木県保健衛生事業団 ・実施期間：5月から翌年 2 月までの通年で実施。		名称	単位	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23 年度(実績)	24 年度(実績)	25 年度(見込)
		ア 子宮がん検診受診者	人	2,874	3,456	3,356	3,402	3,750
		イ 乳がん検診受診者	人	2,751	2,937	2,993	2,836	3,200
		ウ						
		エ						
25年度計画 ・平成24年と同様に実施。 ・子宮頸がんの検査方法が液状化細胞診に変更になり、検査委託料が増額されるため、自己負担額が頸部がん：800円、頸部・体部がん：1,000円になる。		オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 子宮がん検診： 2 0 歳以上の女性 乳がん検診： 3 0 歳以上の女性		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
		名称	単位	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23 年度(実績)	24 年度(実績)	25 年度(見込)
		ア 20歳以上の女性の数	人	17,986	17,984	18,213	18,183	18,014
		イ 30歳以上の女性の数	人	16,795	16,856	17,253	17,185	17,256
		ウ						
		エ						
		オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） がんの早期発見、早期治療に結びつける。		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
		名称	単位	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23 年度(実績)	24 年度(実績)	25 年度(見込)
		ア 子宮がん検診受診者数 / 対象者数	%	16.0	19.2	18.4	18.7	20.8
		イ 乳がん検診受診者 / 対象者数	%	16.4	17.4	17.3	16.5	18.5
		ウ						
		エ						
		オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 健康な状態で生涯を暮らしてもらう。		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
		名称	単位	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23 年度(実績)	24 年度(実績)	25 年度(見込)
		ア 受診者の中で子宮がんが発見された割合	%	0.03	0.06	0.00	0.006	0.008
		イ 受診者の中で乳がんが発見された割合	%	0.10	0.07	0.01	0.10	0.009
		ウ						
		エ						
		オ						

(2) 総事業費の推移				単位	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23 年度(実績)	24 年度(実績)	25 年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	8,721	4,360	7,745	7,017	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	31,075	41,349	43,687	44,865	0
			事業費計 (A)	千円	39,796	45,709	51,432	51,882	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	0	
		延べ業務時間	時間	1,283	1,301	1,444	1,475	0	
		人件費計 (B)	千円	5,204	5,553	6,125	6,198	0	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	45,000	51,262	57,557	58,080	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等		
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	住民が受診しやすい検診体制を整備するため、昭和60年から芳賀郡市医師会の協力を得て、子宮がん検診を開始した。乳がんは平成元年に開始した。	
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは 5 年前と比べてどう変わったのか？	・平成 1 0 年度から老人保健法の補助対象外になり、一般財源化された。 ・がん検診実施のための指針（平成16年）では隔年実施となっているが、本市では毎年検診を実施。また、乳がんは対象者を30歳からに拡大し実施している。 ・平成 2 0 年度より健康増進法に基づく健康増進事業として位置づけられた。 ・平成 2 1 年度に、受診率向上と健康意識の高揚を図るため、節目年齢者に対し、無料クーポンと健康手帳を交付する「女性特有のがん検診推進事業」が措置された。	
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	自分の都合に合わせて受診できるので便利だとの声が多い。	

2. 1 次評価の部 ＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある がんの早期発見・早期治療につながり、市民が心身ともに健やかな生活を送ることができるため、市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある がん対策基本法、がん検診実施のための指針に基づき実施しているので、妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 厚生労働省のがん検診実施のための指針に基づき実施しているので適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 広報・ホームページ・個別通知等で周知しているので、余地がない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない がん対策基本法、がん検診実施のための指針に基づき実施しているので廃止できない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の事業費で実施しているので、削減はできない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の人件費で実施しているので、削減はできない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある がん対策基本法、がん検診実施のための指針に基づき実施しているので、公平・公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の 2 次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1 次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える																								
(2) 2 次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2 次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他 2 次評価会議で指摘された事項 (5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							